

# 連合自治会ニュース



## 施設跡地利用の取組ご報告

連合自治会長 山内 満

日頃は地域の発展と活性化のため、自治会活動にご理解とご協力をいただきお礼を申し上げます。これまで地域住民の長年の懸案でありました東西橋北小学校の統合問題は悩み多い議論の末、教育委員会の決断により、今年4月から新しく「橋北小学校」が開校できる運びとなりました。施設跡地利用についても地域の重要な拠点施設として、地域住民の皆さんが自由に利用でき、地区の活性化にむけ地域が大きなかかわりが持てる施設として今後検討をしていきます。このため「施設跡地利用検討委員会」を2月18日に発足いたしました。

当面は教育委員会の施設として管理することになりましたが、全庁的にはこれから議論を始めることであり、連合自治会としては検討委員会の議論経過を受け、2月27日 四日市市長あてに要望書を提出しました。その内容は①ビバ・橋北が従来使用していた施設の継続使用のお願い。②4月1日から全体の施設管理について責任の所在を明確にすること。③検討委員会を設置して地区で議論を開始したことの重要性を認識させる。の3点であります。なお検討委員会は月1回のペースで開催をし、議論の経過は回覧等で地域の皆さんにお知らせしていきます。



## 自治会活動の紹介

わが町、滝三自治会は近鉄川原町駅から国道1号線に通じる地域です。自治会は95世帯会員と12法人会員の人口202人で構成しています。

活動内容は、特にメインストーリーの環境美化に向けて「ごみの不法投棄」「犬のフン放置」などマナーアップに皆さんと一緒に取り組んでおりますが、成果は長続きせず、まだまだ発展途上です。親睦行事（花見・祭り・餅つき・つどい）などを通じて、交流を語る中、安心して暮せる町づくり（防災活動・防犯・見守り活動）を推進中です。

平成27年には、近鉄線川原町駅周辺が立体交差（高架線）となり踏切が無くなり交通緩和されますが、交通量が増加すると注意が必要となります。安全対策として、道路整備・通行規制などの要求をしています。広報活動として、一般回覧とは別に「自治会ニュース」を月1回発行して地区・町内催しの情報連絡を行い、意見要望を募っています。

要望の声にて、防災対策の1つ「資機材…自家発・投光機・チェーンソー・担架・保管倉庫設置など」充実を図る事が出来ました。

しかし、寂しい事として小学生の子どもが不在で「子ども育成会」を数年休会せざるを得なくなった事です。将来は、近隣の地区との交流も合わせて活性化されますので、是非皆さんもご協力お願い致します。

滝川町第三自治会長 伊藤 和義



橋北地区連合自治会 文化・広報部

発行責任者 山内 満

編集責任者 高波 功